

2025年6月30日

「ソーシャルファイナンス型シンジケートローン」の組成について ～埼玉県北部の地域医療を支える病院の建替えを資金調達面からサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2025年6月30日（月）、熊谷市にて「藤間病院」を運営する医療法人藤和会（理事長 清水 謙、本院：熊谷市末広町）に対し、病院建替え資金として「ソーシャルファイナンス型シンジケートローン」の組成を行いましたので、お知らせします。

医療法人藤和会が運営する藤間病院は、内科・整形外科・婦人科を始め10の診療科を置き、稼働病床数55床を有する埼玉県北部医療圏の主要な急性期病院の1つとして、1951年の開院以来70年以上に亘り地域医療を支えています。

こうした社会インフラとして必要不可欠な病院の建替えにあたり、当行はアレンジャーとして「ソーシャルファイナンス^注型シンジケートローン」を組成したものです。

今般の「ソーシャルファイナンス型シンジケートローン」は「ソーシャルローン原則」に適合したものとして、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所から客観的な評価（セカンドオピニオン）を取得しております。

当行では、今後も持続可能な地域経済・社会の実現に向け積極的に取り組んでまいります。

注 ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）及び Loan Syndications & Trading Association（LSTA）により2021年4月に発行された、資金用途を社会課題解決プロジェクトに限定する融資組成原則である「ソーシャルローン原則」に適合するファイナンス

《ソーシャルファイナンス型シンジケートローンの概要》

借入人	医療法人藤和会
融資実行日	2025年6月30日（月）
アレンジャー兼エージェント	武蔵野銀行
組成金額	25億円
資金用途	藤間病院 病院建替資金
参加金融機関（50音順）	埼玉縣信用金庫、埼玉りそな銀行、第四北越銀行、千葉銀行、栃木銀行、八十二銀行
第三者評価機関	株式会社日本格付研究所

次頁へ

《新病院（建替後の藤間病院）概要》

所在地	埼玉県熊谷市末広町2丁目137番地
稼働病床数	60床（一般48床、地域包括ケア病床12床）
建築面積	1,432.60㎡
延べ床面積	3,585.00㎡
構造	鉄骨造3階建
工事計画（予定）	2025年7月（着工） 2026年11月（竣工） 2027年1月（開業）
診療科	内科、消化器科、循環器科、リウマチ科、整形外科、外科、泌尿器科、婦人科、リハビリテーション科、乳腺外科

完成イメージ



報道機関からのお問い合わせ先
 法人コンサルティング部 法人営業グループ 小山 貴司
 TEL (048) 641-6111 (代)

以上